

## アルストロメリア 出荷規格など確認

JA鶴岡

【山形・鶴岡】JA鶴岡アルストロメリア専門部は、鶴岡市のJA北部集出荷場で目ざろえ会を開いた。本年度アルストロメリアは、夏の高温による株疲れで秋の出荷開始が少し遅れたものの、以降は気温が早めに下がり生育は順調。相場も堅調に推移している。アルストロメリアは



アルストロメリアの出荷基準を説明する上野専門部長（左から2人目）（山形県鶴岡市で）

通年出荷し、4、5月ごろに最盛期を迎え

る。本年度は専門部員22人が栽培。出荷量170万本、販売高1億6000万円を目指す。目ざろえ会には、生産者ら約20人が参加。サンプルを見ながら出荷規格や出荷調製の注意点などを確認した。上野善光専門部長は「各部員のハウスの管理状況が良く、高品質なアルストロメリアを届けられそうだ。暖房機やヒートポンプなどで温度調整してほしい」と呼びかけた。